



しんじゅ

No. 34
2024年1月15日

発行所：社会福祉法人 しんじゅ
発行人：猪坂 一彦

本部事務所
ホーリーツリー東部
たおじ分室
ホーリーツリー西部
ホーリー離宮
ホーリーハウス
ステーションしんじゅ
福祉の店「いたやど」
ホーリー須磨
ホーリーピンゴ
ホームページ

☎739-5350 〒654-0054 神戸市須磨区須磨本町1-1-6
☎821-1586 〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22
☎987-2532 〒651-1312 神戸市北区有野町有野字白原3689
☎739-5360 〒654-0054 神戸市須磨区須磨本町1-1-6
☎754-6760 〒654-0065 神戸市須磨区離宮前町1-1-29
☎739-5390 〒654-0054 神戸市須磨区須磨本町1-1-6
☎731-3340 〒654-0065 神戸市須磨区離宮前町1-1-29
☎733-2477 〒654-0022 神戸市須磨区大黒町2-2-12
☎739-5359 〒654-0054 神戸市須磨区須磨本町1-1-6
☎846-1812 〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22
http://www.shinju.or.jp

社会福祉法人「しんじゅ」の理念

1. 愛情をもってふれあい、共生の中で人間性豊かな人生を築こう
2. 安全で、安心して生活できる場を実現しよう
3. 自由で尊厳ある人生を全うしよう

昭和のあの偉大な経営者は、叱つた後には必ず本人に、「元気にしとるか」「機械よう働いてるか」と電話を掛けたそうです。人心掌握の何たるかの逸話でしょうが、社員に対する謙直な謙虚さが電話での声掛けの動機であつたに相違ありません。そもそも謙虚とは何か。

昭和のあの偉大な経営者は、叱つた後には必ず本人に、「元気にしとるか」「機械よう働いてるか」と電話を掛けたそうです。人心掌握の何たるかの逸話でしょうが、社員に対する謙直な謙虚さが電話での声掛けの動機であつたに相違ありません。そもそも謙虚とは何か。

ホーリーツリー東部

施設長 長澤 千尋

内装リニューアル

令和5年9月初頭より、神戸市保全課による危険回避のための段差解消工事として東部1階フロアの面積の南側半分を占める畳敷設部分の段差撤去工事が行われました。

畳部分で座ったり横になったりして寛がれる利用者の方も多くいらっしゃいますので東南の4分の1はフルフラットの状態でも畳敷きを残してほしいと要望した結果、保全課に同意頂いたうえで一階フロアは段差のないフルフラットのフロアとなりました。

その後かねてより気になっていた年月を経てしみだらけのフロアカーペットを掃除しやすく車椅子を操作しやすいシートに張り替えて、昭和な雰囲気漂うレトロな流し台も交換させていただきました。明るいページュを基本としたフロアと白いキッチンに変えただけで東部の1階フロアはとても明るく広々とした雰囲気の空間になりました。

工事期間中の2か月の間は活動場所を2階に移しておりましたので利用者の方々には若干の不便をおかけしましたがピンゴ時代を懐かしく思い出される若い利用者の方々をはじめ皆さんいつもと異なる雰囲気を受け入れ楽しんでくださったように思います。

工事の間、心配していた事故もなく無事過ごせたことに感謝しここに報告させていただきます。



1 フロア新



2 キッチン新

社会福祉法人しんじゅ「福祉バザー」(最終報告)

「しんじゅ福祉バザー」の最終回は、8月16日(水)を予定していましたが、猛暑を避け10月13日(金)に順延して開催しました。神戸市・神戸市教育委員会・神戸市PTA協議会・神戸市社会福祉協議会・神戸新聞厚生事業団から変わらぬご後援を賜りました。

▼ミニバザー

最終回の「しんじゅ福祉バザー」で頑張って販売しましたが、開催場所の「板宿詰所」は10月末日をもって賃借契約が終了します。そこで今一度10月27日に「ミニバザー」を開催しました。在庫一掃とはいきませんでしたが、たくさんお買い上げいただきました。

残った品物は、10月30日にホーリーツリー離宮に収容。

▼寄贈品の販売

毎回、会場にお見えいただくお客さまから「つぎいつやるの?」。

以降、在庫品・寄贈品は『福祉の店いたやど』で販売します。※商品を提供いただいた方々、永年に亘り「しんじゅ福祉バザー」を担ってこられたボランティアの方々、関係各位にはお世話になりました。厚く御礼申し上げます。



感謝

●寄付(敬称略・五十音順)
令和4年7月～令和5年12月の間に次の方々から尊い寄付を頂戴しました。
加藤 千鶴子 黒田 素美子 東郷 賢治 宮前 峯子 宮脇 尚志

巻頭言

【謙虚】

理事長 猪坂 一彦

「あらたしき 年の初めの初春の きょう降る雪のいやしけよごと」 温暖化で雪は降らなくとも吉事を重ねたいとの思いで新年を迎えました。

我がしんじゅの「ホーリーツリー西部」では、職員・利用者の協働作業で、月次のカレンダーを制作しています。出来上がったら毎月、利用者のご家庭にお届けします。

月例のミーティングで、ある職員からカレンダー作りの提案があつたそうです。それを施設長が名案だと採択し、定例作業化することになりました。先ずその月に相応しい図柄を描き、利用者の練度に合わせてキット化し、材料を手配。当該職員はその役目を一人で担っています。年十二回しかも翌年は前年の図柄は使えません。毎月の大変な工夫と努力のほどが伺えます。

その職員の利用者を慮る篤実で謙虚な思いが、カレンダー作りへの大きな動機になったのです。毎月の作業によつて培われた利用者との職員間の緊密な信頼関係が、一体となった嬉々とした作業に繋がっているのです。

カレンダー作り足掛け三年の成果は、ホーリーツリー4階「しんじゅホール」の壁面を飾っています。

行政指導で、「虐待防止委員会」・「身体拘束適正化委員会」の設置が義務付けられています。法人も真摯に取り組んでいます。研修でいつも感じること、利用者への見せか

新評議員・新監事のご紹介

【新評議員のご紹介】

新評議員 盛山 路子さま
社会福祉法人しんじゅ評議員を永きに亘つて努めていた盛山正仁さまは、去る9月13日に文部科学大臣に就任され、教育、科学技術、学術スポーツ、文化芸術という広範な分野で重責を担われることとなり、これを機に評議員を辞任されました。法人として後任を夫人の盛山路子さまに委嘱、10月25日付で就任を承諾いただき、今後の法人運営にご尽力賜ることになりました。

【新役員のご紹介】

新監事 谷 美恵子さま
社会福祉法人しんじゅ監事を永きに亘つて努めていた谷永きみ子さまは、12月21日をもって退任され、後任に谷美恵子さまが選られ、主に経理面でご協力を賜ることになりました。
光永きみ子さまは、平成21年1月6日に監事に就任され、14年間、会計監査など特に経理面で多大なご尽力を賜りました。深く感謝申し上げます。

～身体(からだ)の障害が“生きること”の障害にならない社会へ～ 第57回近畿肢体不自由児者福祉大会

日 時：令和5年10月14日

場 所：アクリエひめじ

(姫路市コンベンションセンター)

主 催：近畿肢体不自由児者父母の会連合会

共 催：近畿肢体不自由児協会連合会



【開催要項】(要旨)

- ・父母同士が支えあい、心の痛みをやわらげる相互の励ましを図る場こそが、最優先の目標であることを再認識したいと考える。
- ・「兵庫県東部地区に障害児者リハビリテーションセンター設置」を県に要望。それを受けて、2020年「兵庫県立障害児者リハビリテーションセンター(通称：あまりハ)」が設立された。
- ・『兵庫県立障害児者リハビリテーションセンター』：幼時から成人まで脳性まひ等肢体不自由児者が、健康的な社会生活を送れるように支援致します。
- ・障害児のみならず成人期のリハビリテーションの必要性に関して改めて理解を深めて頂きたいと考える。
- ・厚生労働省介護現場における腰痛予防対策として介護技術(ノーリフティングケア)や介護機器(リフト)等の導入を推進。介護する側とされる側双方に安全・安心・身体への軽減するケアの方向とを学習して頂き平時の介護のヒントになればと考え紹介する。

【大会決議文】(抄録)

- ・兵庫県立障害児者リハビリテーションセンター(通称：あまりハ)は、「兵庫モデル」と称される成功モデル。
 - ・“成年期の課題”は多岐にわたるが、これからは“医療”に対しても果敢に取り組まねばならぬ。
 - ・小児医療の進歩により、多くの命が救われるようになり、慢性疾患を抱えたまま成人期を迎える人々が増えた。その“おとなに成長する過程”において、障害児者がどこで適切な医療を受けるべきか、その在り方が一層重要である。小児科が“一生診続ける”という使命は非常に困難であり、施設や環境も本来的には成人にふさわしいものとは言えない現状。
- ※子供たちの未来をより豊かで希望に満ちたものにするために私たちは、今後も結束し、果敢な行動をとるべきです。安全と尊厳を保護し、医療・介護の未来を共に築いていきましょう。

当法人からも理事・保護者が参加した。質疑応答時間では、県行政に対し喫緊の課題として、保護者の高齢化による自宅介護の困難さを訴え、入所施設の増設を要望した。
※同姫路市コンベンションセンターの別室では介護機器(ノーリフティングケア用品等)の展示会があり、多くの見学者で賑わった。

ホーリーツリー東部

長澤 千尋

【新しい試み】

令和5年度の下半期のホーリーツリー東部のメインイベントはUSJとどうぶつ王国への遠足でした。

今回は保護者同伴ではなく利用者様だけの参加で先行は『どうぶつ王国』か『USJ』で希望を聞き約1か月半をかけて順番に少人数で遠足を楽しみました。利用者の方々のほじける笑顔とお土産話に毎回大盛り上がりでした。

次の機会は多くのご家族との親睦をかねたイベントが開催出来たら……と願っております。

職員紹介

ホーリーツリー東部 中尾 光利

10月23日よりホーリーツリー東部で働いている中尾です。

異業種からの転職で福祉の仕事は未経験で、徐々に利用者さんの支援方法を覚えている段階です。最初、利用者さんとのコミュニケーションに不安がありましたが、先輩スタッフたちの話し方や行動を参考にさせていただき、利用者さんと接することができています。

介助技術はおぼつかないですが、徐々に磨いていきたいので、皆様、ご指導よろしくお願い致します。

ホーリーツリー東部 たおひ分室

太田 すみ代

今年は、いつまでも暑い日が続いていましたが、やっと気候が良くなり、みんなで車を出して広く安全でなおかつ利用者様が喜ぶブランコ・すべり台がある公園を探しに行きました。

公園に着くと解放感からなのか急に走り出し、大声を出し、笑顔いっぱいになっていました。公園で遊ぶのも久しぶりなので楽しんでいました。

スタッフも利用者様の嬉しそうな様子を見て幸福な気持ちになりました。

自然に恵まれた場所があったよかったと思いました。

ステーションしんじゅ

木場 美子

しんじゅに入職し1年経ちました。利用者様、職員の方々の温かいサポートもあり、毎日楽しく皆様と関わり支援させて頂いています。

コロナ感染症が2類から5類へ移行となり、移動支援では日頃笑顔や元気をたくさん下さる利用者様へ外出しリフレッシュして頂いていますが、今までで一番印象に残っている事は、ポッチャやシッティングパレーに参加されている利用者様が、広い体育館の中を見た事もない速さで、生き生きとした表情を浮かべ自由に車椅子を漕ぎ、走り回っている様子でした。

そこまで自由自在に車椅子を動かせる方なのだと初めて知り、今後も参加できるよう支援していきたいと思い、又、利用者様の希望に沿った外出で皆様の新たな表情を見たいと思いました。

職員紹介

ステーションしんじゅ 黒河 希世

私が面接を受け、施設見学をさせて頂いたのが9月でした。利用者さんは皆さん生活介護に行かれていましたが、施設内を案内して頂いた時に感じた施設の雰囲気はとても穏やかでゆっくり時間が流れていると思いました。

10月入職が決まり入社すると利用者さんは直ぐに名前を覚えて下さり、職員の皆さんも不慣れで至らない私を優しく迎えて下さいました。

利用者さんは笑顔が多く、共通の話題で少しずつ関わりを多くもてるようになり関係性が出来てきたように思います。「明日も来る?」「お疲れ様です。」等利用者さんが声をかけて下さる事があると帰り道の足取りが軽くなるのを感じます。

サービス提供責任者の役職も頂き、まだまだ名前負けをしている日々ですが気長に見て頂けると有難くおもいます。

今後とも宜しくお願い致します。

編集後記

コロナウィルスが依然蔓延しています。加えてインフルエンザで近隣の学校の学級閉鎖などで職員へも影響が出ています。それでも長い夏の終わりを待つて各所で外出やいろいろな行事が永い自粛を経て復活しました。職員と利用者の絆がより強まったように思います。事業所だよりでお伝えできていれば幸いです。ホーリーツリー東部の訓練室改修などリニューアルを特集しました。気分一新となることでしょう。【第57回近畿肢体不自由児者福祉大会】に参加し、特集記事としました。2024年が良き年でありますように。(編集員一同)

展覧会出展

小宮山綾乃さん(ホーリーツリー西部 就労継続支援B型)の作品です。

切絵【銀のドラゴン】

第35回 全国手工芸コンクール in ひょうご(令和5年11月24日～26日 兵庫県民アートギャラリー)に出展しました。



ホーリーツリー西部

大西 晋

【淡路島へ】

11月25日、今日は待ちに待った外出の日、車に乗って皆ウキウキで明石海峡大橋を渡り、淡路ハイウェイオアシスまでの遠足。お昼は何を食べようかと事前に印刷していたメニューをジロジロ。到着と同時に皆な各々目的のお店へGO! 淡路の美味しいものに舌鼓を打ちながらゆっくりと過ごされた方や、昼食を早々と終わらせ、『ニジゲンノモリ』まで足を運んだ方もいました。皆で集合時間に集まり、その後は『タコせんべいの里』まで足を運び、試食を楽しんだり、お土産を選ぶなどと今日まで長く外出を待ちわびた利用者さんにとって、良い日和に恵まれ楽しい外出になりました。

職員紹介

利用者様から教わる

ホーリーツリー西部 本荘 久哲

9月19日より、勤務させて頂いて居ります、本荘久哲と申します。早、2カ月半が過ぎようとしております。前職は、自転車業界で働いておりました。

大学卒業後は、ツアーコンダクター(旅行添乗員)の仕事をしており、修学旅行で障がいのある生徒様のサポートをさせて頂いた事はありましたが、未経験からのスタートであり、不安もありましたが、日々皆様と過ごさせて頂く中で、利用者様とのコミュニケーションを楽しめる様になって来ました。

仕事は、先輩職員の方々から教わるだけでなく、利用者様からも教わっているのだと実感しております。利用者様、職員の皆様方と、毎日楽しく過ごせる様、努力したく思っております。何卒宜しくお願い致します。

ホーリーハウス

久保 成起

【模様替え】

ホーリーハウスは開所してから13年が経ちました。当然のことながら利用者さん、職員も同じだけ歳を重ねています。そうした中で我々もそうですが、利用者さんも実情に応じた生活の変化が求められます。下の写真はほんの1例ですが(申し訳ありませんbeforeの写真はありませんが……) お部屋の模様替えをさせて頂きました。以前は部屋の中にあったタンスを押し入れの中に入れることにより部屋の中が広くなり、車椅子での移動がスムーズになりました。他にも押し入れの扉を外すことによってより開放的な空間を作り出すことが出来ました。こうした一人一人に合った住環境を考えていながら入居者さんが快適な生活を送れるようサポートしていきたいと思ひます。

前号でお知らせしたホーリーハウス利用者さんの会(サワーの会)も活動を始めました。皆さんから頂いた様々なご意見(誕生会を開催したい、忘年会がしたい等々)を基に行事などを考えていきたいと思います。12月には肢体不自由児者協会さんから頂いた助成金を使用して忘年会兼クリスマス会を開催しました。今後も利用者さんと一緒にいろいろ考えていながら楽しみと笑顔あふれるグループホーム作りを目指していきたいと思ひます。

【クリスマス会&忘年会】

12月9日(土)にホーリーハウス・ステーションしんじゅの合同行事としてクリスマス会&忘年会を開催しました。毎年行っていますがここ数年はコロナ禍ということもあり小規模な内容でした。今年はコロナも落ち着き、またスタッフの方々の企画力、実行力のおかげで内容を一新し盛大に行うことが出来ました。料理は鶏肉、豚肉、野菜が盛りだくさんのお鍋をしました。皆さんたくさん食べて、大満足の様子でした。締め雑炊までべろりと食べていました。食事の合間にスタッフの方がマイキーボード持参でクリスマスソングや、利用者さんのリクエスト(演歌、ポップスなどいろんなジャンルの曲)に応じて演奏してくれました。食後は眠気覚まし体操やクイズ大会、ゲーム大会、利用者さん&スタッフによるバルーンアートや利用者さんの物まね大会、今年アレ(ARE)した瞬間の実況中継など日頃あまり見ることのない芸達者な一面を見ることが出来ました。他にもスタッフによる手品などとても楽しい内容でした。特にスタッフのSさんのプロデュース力、飾りつけ、企画内容などは逸品でした(ご本人はまだまだこんなもんじゃないと仰っているのを来年以降も楽しみです)。

ゲームの後は満腹と皆さん言っていました。ケーキは別腹と、よく聞く言葉を言いながらクリスマスケーキをべろりと食べました。ケーキを食べながら今年を振り返って一言と来年の抱負を述べてくれました。皆さん楽しい一年を過ごせたようで良かったです。最後にクリスマスプレゼントを受け取り閉会しました。利用者さん、スタッフ一体となって楽しい時間を過ごすことが出来て本当に良かったと思ひます。

最後に兵庫県肢体不自由児協会から共済会費を交付して頂きありがとうございました。

ホーリー離宮

松園 雄蔵

*10月31日ハロウィンを楽しみました。様々な衣装を身にまとい仮装して、おやつを食べてまた、よく笑いたくさんの笑顔で楽しい時間を過ごしました。

*11月18日・開所日に垂水区の健康公園迄出かけました。とても風が強く肌寒かったですが綺麗に色づいた木々を眺めてその後、ドライブをして季節を感じる事が出来た1日でした。年末にはクリスマスなど楽しい時間を過ごせました。

みんな健康に気を付けながら、笑顔で過ごして参ります。

